

01

中長期的な企業価値向上に向けて

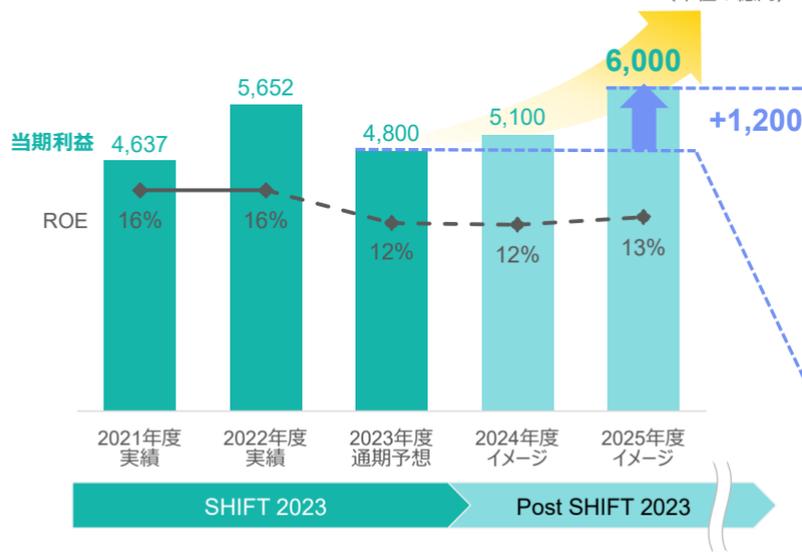
代表取締役 社長執行役員 CEO 兵頭 誠之

2025年へ向けて

- SHIFT 2023の完遂により、外部環境にかかわらずROE12~15%を維持する収益基盤を確立し、その先の成長へ繋げることで、2025年度には当期利益6,000億円を目指す。

当期利益・ROE推移

(単位：億円)



2023年度から2025年度にかけての主な増益要因

資源ビジネス：+150億円

マダガスカルニッケル事業、
チリ銅事業

非資源ビジネス：+1,050億円

自動車流通事業：重点市場における販売強化
建機関連事業：エリア・顧客基盤拡大、商品多様化
海外発電事業：既存事業の収益拡大
海外通信事業：通信エリア拡大に伴う収益化
リテール事業：店舗改装及びDXによる収益性向上、収益基盤拡大
ヘルスケア事業：収益基盤拡大
アグリ事業：地理的拡大、提供機能強化

持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて



経済価値の追求とそのための非財務資本の拡充

- ROE12-15%を維持、収益の「安定性」と「成長性」を高める
- 持続的に経済価値を生むのは、高い社会価値、環境価値を創出する事業
- 社会、環境価値創出の源泉である非財務資本の拡充が今後益々重要に

住友商事グループの価値創造モデル

